

環境色彩研究会

Special Interest Group on Environmental Color

<http://color-science.jp/environment/labnews/>

主査 萩原 京子 (サンスター技研(株))

e-mail: cmyk7rgb6@gmail.com**環境色彩を真摯に粘り強くそして楽しく研究しています。ご参加をお待ちしています。****◆活動報告や活動計画など**

環境色彩研究会では、幅広い分野の環境色彩をテーマに活動しています。

例を挙げると

- 屋根の色や壁の色などの建築物の色彩
- 橋や道路などの土木系の色彩
- ベンチや街路灯などのストリートファニチャーの色彩
- その地方固有の樹木、土、水辺の色彩
- 景観条例や街並みの色を考える街づくりに関連する色彩などです。

テーマに沿った見学会、講演会、勉強会、共同研究等を行い、その成果を「研究発表会」にて披露しています。

これに加えて、『試験的WEBミーティング』という新イベントを始めました。環境色彩に関する話題を話し合うWEB上でのミーティングで、話題提供：15分～30分、懇談会：60～90分程度のカジュアルなイベントです。気楽に環境色彩に関するテーマを思う存分語り合う場にしたいと思っています。

これまでに提供された話題は、下記のとおりです。

- 社会問題である空家等の再生に係るまち並みの色彩
 - 改めて地域の色を考えてみませんか地元の色をあなたご自身で探してみましょう。
 - 緑でつなぐ街づくり
 - 千葉ニュータウンを語る
 - コミックキャラクターによる街づくり・水木しげるの妖怪ワールドの境港市と調布市の紹介
 - 初日の出の写真とめったに見られない工事現場の写真
 - DICデジタルカラーガイドアプリの環境色彩研究への応用可能性について
 - DICデジタルカラーガイドアプリの環境色彩研究への活用事例
- 今後も、継続していく予定ですので一度気楽にご参加ください。

視覚情報基礎研究会

The special interest group on Foundations of Visual Information (sig-FVI)

<https://color-science.jp/vision/labnews/>

主査 眞鍋 佳嗣 (千葉大学)

e-mail: sig-fvi-staff@mc2.osakac.ac.jp**視覚情報に関する最先端の学問や技術の学びと、若手研究者の積極的な育成。****◆活動報告や活動計画など**

人間が外界から得る情報の約8割は視覚情報と言われています。それらは、外界の光情報である物理面、視覚系と神経回路に関する生理面、大脳に投影されたイメージの知覚現象に関する心理面に代表され、相互に密接に関係し、視覚系全体から学際的な視点での研究と評価が必要です。

本研究会では、これらの研究対象に関して、著名な専門家から最先端の成果や技術を学び、一般講演を通じて議論を深めることができます。2009年に研究会が発足して以来、44回の研究発表会が実施され、80件以上の招待講演と約300件の一般講演がありました。また、日本色彩学会誌での特集論文や、国際会議等の開催に協力してきました。

令和4年度での研究発表会では、第43回において、

川上玲氏(東工大)による招待講演「複数データセットを混合した学習」と4件の一般講演が、また第44回において、高田英明氏(長崎大)による招待講演「新たな立体知覚現象に基づく360度裸眼3D表示システムの研究開発」と5件の一般講演がありました。さらに、秋の研究会大会に、色彩科学系の1研究会として合同研究発表会に参加し、他研究会の会員を交えた議論・交流が実施されました。

今年度は、10月28日、29日に開催された研究会大会での合同研究発表会に参加し、本研究会に関する研究発表が行われました。また、3月に、研究発表会の開催を計画しており、対面による実施を検討しています。ぜひ、ご参加ください。